河北新報　第二朝刊　平成２１年（2009年）６月２３日（火曜日） ©河北新報社 2009

NIE特集
Newspaper In Education

亘理小

学校名　宮城県亘理町立亘理小学校
所在地　亘理町下小路22の２
電　話　0223（34）1311
校　長　浅野　幸一
児　童　710人

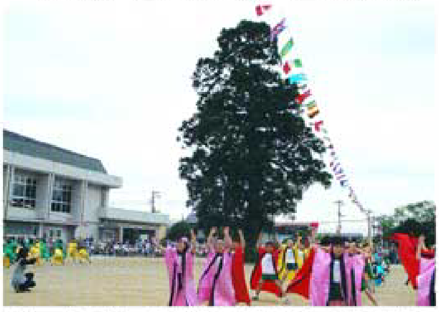
「ふたすぎ」の歴史を探れ！

児童を見守って100年

知り隊

わたしたち亘理小の児童は、校庭のまん中に立つ大きな二本の杉「ふたすぎ」にいつも見守られて楽しく生活しています。校歌にも「かの大杉のたくましく」と歌われている大好きな「ふたすぎ」の歴史を調べてみることにしました。

戦後 校歌に取り入れ



校庭の中にある「ふたすぎ」＝5月23日の運動会で撮影

わたしたちは、亘理小を卒業した家族に話を聞いたり、亘理の歴史の本を読んで「ふたすぎ」について調べました。

亘理小は明治6（1873）年、小堤小として開校しました。27年後、校地拡張を行ったときに今の「ふたすぎ」が校庭の一部になったそうです（1900年）。それから100年以上も校庭のまん中で成長してきたことになります。

戦後の昭和22（1947）年に制定された校歌では、「かの大杉のたくましく…」と歌われています。昔は「大杉」と呼ばれていたようです。その後、大杉が二本立っているので「ふたすぎ（二杉）」と呼ぶようになり、児童会の名前も「ふたすぎ児童会」になりました。

学校が火事になったことがあります（1967年）。その時も「ふたすぎ」は無事でした。このころから学校では緑化活動に熱心に取り組み、全国学校環境緑化コンクールで全国特選に輝きました（1976年）。

100年以上生き続けた「ふたすぎ」のうちの一本が枯れそうになったことがあります。校木ふたすぎを守り育てる会の方々が中心となって、一本の「ふたすぎ」が植え替えられました（2000年）。それが今の、南側にある杉です。太い方は、樹齢200年ぐらいになります。

亘理小を卒業した家族に「ふたすぎ」の思い出を聞いたところ、「昔はふたすぎに登ってもよかった」「クリスマスツリーみたいに飾ったことがある」というとてもうらやましい思い出を聞くことができました。

◇　◇

「ふたすぎ」のことを調べて、「ふたすぎ」が昔からみんなに大事にされてきたことがわかりました。ずっと昔から亘理小の児童のことを見守ってきた「ふたすぎ」を今まで以上に大事にしようと思います。

文・山川奈々美、鈴木玖実子、高橋優香、馬上沙也華、菊池真紀香、武田華々（5年）

言い隊

■ 旬の食べ物で健康に ■

みなさんは、旬の食べ物を食べていますか。私は祖父が取ってきたタケノコを、煮付けやたけのこご飯にして食べると、春が来たことを感じます。

今、スーパーでは多くの野菜や果物が年中出回っています。旬ではない野菜や果物は、外国からの輸入や、ハウス栽培のものだそうです。輸入されたものの一部は安全性が心配だと聞いたことがあります。毎日、給食の時間に流れる「給食一口メモ」では、旬のものは栄養が多く、おいしいということを知りました。

みなさんも、栄養がたくさんあり、おいしい旬の食べ物を食べ、健康な体をつくりましょう。

（6年・佐々木玲奈）

■ 緑増やす運動に協力 ■

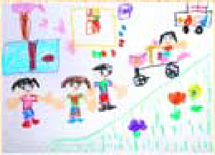
亘理小では毎年5月に、亘理駅で「緑の羽根募金」の活動をしています。私も昨年、園芸委員として活動に参加し、たくさんの募金が集まりました。

なぜ、緑が大切なのでしょうか。その理由を昨年、総合の時間で学習しました。森林が減ることは、地球温暖化の原因の一つです。また森林にいる動物たちの住む場所がなくなり、えさを求めて人里に現れたり、絶滅のおそれがでたりします。もし、このまま、森林が減ったら私たちも生活ができなくなるそうです。

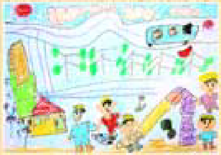
私たちが大人になっても豊かな生活ができるよう、緑を増やす活動にみんなで協力していきましょう。

（6年・林崎優）

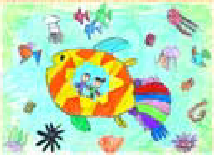
うきうきキャンバス



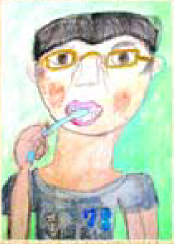
たのしみなえんそく
1年・斎藤柚香



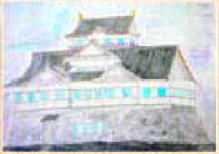
えんそくにいったよ
2年・佐藤来夢



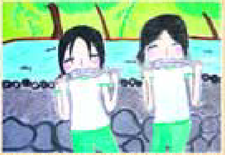
魚せん水かんにのって
3年・三品百花



歯をみがく友だち　4年・沢村和美



城
5年・加藤彩華



にじますつかみ
6年・須藤英美

教え隊

伝統の成実ばやし

鳴子と旗 迫力の踊り

成実ばやしの発表をする子どもたち（今年2月）

町には亘理の人々が楽しく集うための曲、成実ばやしがあります。昔の亘理の殿様の名前が、伊達成実です。亘理小では、成実ばやしの演奏や踊りに地域の方の指導を受けて6年生が取り組み、運動会や姉妹校との交流会などで披露しています。

大締め太鼓や宮太鼓を中心にしたおはやしや、鳴子と旗を使った踊りは迫力満点です。そして毎年6年生から5年生へ引き継がれます。5年生は6年生の意志をしっかり引き継ごうと、今からやる気満々です。

文・石井智大、横山直樹、森春毅、玉田明寛、山田智貴、佐々木聖也（6年）、石橋紗和、村山穂香（5年）

編集後記

私たち新聞委員会が「どきどき小学生」を編集すると聞いたときは、「本当にできるのかな」と少し心配になりました。でも、みんなで取材したことを発表し合いながらまとめ、記事を作っていく仕事はとても楽しくできました。

今回、ふたすぎや成実ばやしについて調べる中で、亘理小に受け継がれてきたものの大きさを感じました。この経験をこれからの活動に生かしていきたいです。

〈編集委員〉森春毅、山田智貴、横山直樹、石井智大、林崎優、佐々木玲奈、佐々木聖也、玉田明寛（6年）、石橋紗和、村山穂香、山川奈々美、鈴木玖実子、高橋優香、馬上沙也華、菊池真紀香、武田華々（5年）

題字デザイン　横山直樹、山田智貴（6年）

〈指導教員〉福田愛沙、小嶋純、高久政敏

毎月第２・４火曜日発行　これまでの掲載校の紙面を河北新報のホームページ（ＫＯＬＮＥＴ）で見ることができます。